

# 水俣学研究センター研究活動の記録

(2024年4月～2025年3月)

## 目次

- I. 水俣学講義
- II. 公開講座
- III. 研究会
- IV. 情報発信
- V. 健康・医療・福祉相談
- VI. 胎児性水俣病世代の被害に関するWG

## I. 水俣学講義

### 第23期 水俣学講義

期間：2024年9月26日(木)～2025年1月23日(木)

- 第1回 9月26日「水俣病事件の歴史と現在」  
花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部 水俣学研究センター）
- 第2回 10月3日「漁村の暮らしと水俣病事件」  
井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 第3回 10月10日 DVD上映
- 第4回 10月17日「神経生理学からみた水俣病」  
南部 篤（自然科学研究機構生理学研究所 認知行動発達機構研究部門名誉教授）
- 第5回 10月24日「ノーモア・ミナマタ第2次訴訟原告の現状とおもい」  
森 正直（ノーモア・ミナマタ第2次訴訟原告団団長）
- 第6回 10月31日「ノーモア・ミナマタ第2次訴訟判決の問題と対策」  
寺内大介（ノーモア・ミナマタ第2次訴訟弁護団事務局長）
- 第7回 11月7日「八代海の環境汚染と住民の健康影響」  
蜂谷紀之（元国立水俣病総合研究センター環境保健室長 元熊本大学非常勤講師）
- 第8回 11月14日「『水銀に関する水俣条約』の概要と採択までの道のり」  
早水輝好（一般社団法人土壌環境センター副会長）
- 第9回 11月21日「石牟礼道子さんの日々」  
浪床敬子（熊本日日新聞社文化部次長兼論説委員）
- 第10回 11月28日「水俣病の補償・救済制度」  
田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 第11回 12月5日「水俣病事件報道の難しさと環境報道のいま  
—環境省の患者認定の闇を追って—」  
杉本裕明（ジャーナリスト NPO法人未来舎代表理事）
- 第12回 12月12日「胎児性・小児性水俣病患者への補償と社会福祉的課題」  
永野いつ香（NPO法人はまちどり管理者）
- 第13回 12月19日「水俣仏舎利塔の護持活動」  
山口紀洋（弁護士）

- 第14回 1月9日「水俣病の経験からTSMCの熊本進出を考える」  
中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部 水俣学研究センター）
- 第15回 1月23日「私と水俣学：水俣学を構想した理由と経過」  
花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部 水俣学研究センター）

## Ⅱ. 公開講座

- 第21期 公開講座「つくりたい水俣の未来を考える」  
日時 2024年10月1日から10月29日の毎週火曜日  
会場 エコネットみなまた
- 第1回 「『水俣』を学ぶ／学ばせる意味～広島女学院高校Global Issuesにおける取組から」  
加藤弘輝（広島女学院中学高等学校教諭）
- 第2回 「森と棚田のめぐみはタダで良かですか？」  
沢畑 亨（水俣市久木野ふるさとセンター愛林館館長）
- 第3回 「環境福祉政策からのまちづくり～水俣の未来～」  
炭谷 茂（恩賜財団済生会理事長）
- 第4回 「里山（の保育）で育つ子どもは、安心としあわせに満ちみちて」  
宮里六郎（熊本学園大学名誉教授）

## Ⅲ. 研究会

### 1. 定例研究会

- 第46回水俣学定例研究会  
日時 2024年7月10日（水） 15：00～16：30  
場所 熊本学園大学14号館3階143C演習室  
内容 「『公害遺跡』試論～百間排水口から考える」  
報告者 矢野治世美（熊本学園大学社会福祉学部准教授）

### 2. 第19回 水俣病事件研究交流集会

- 日時 2025年1月11日（土） 13：30～17：00 1月12日（日） 9：30～15：00  
会場 エコネットみなまた
- 第1部  
「教育と水俣病事件Ⅴ —1986年チッソ不適切質問事件—」  
石井雅臣（水俣学研究センター客員研究員）  
「公害資料館のネットワーク化とその意義：水俣を中心に」  
林 美帆・除本理史（公害資料館ネットワーク）  
「国際的な化学物質管理の動向と水銀規制」  
中地重晴（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 第2部  
「胎児性水俣病世代の社会的被害」  
原田利恵（国立水俣病総合研究センター）  
「水俣病患者の権利擁護と補償・福祉のジレンマ」  
尾崎寛直・野澤淳史（東京経済大学）、永野いつ香（はまちどり）、除本理史（大阪公立大学）

## 「水俣病被害調査の記録と課題」

花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部 水俣学研究センター）

## 第3部

## 「認定申請から49年・私の家族の水俣病」

坂本みゆき（水俣病被害市民の会）

## 「除斥期間の制限と優生保護法最高裁判決（大法廷）」

三角 恒（熊本県弁護士会）

## 「水俣病の除斥期間問題について」

高峰 真（ノーモア・ミナマタ訴訟弁護団）

## 「新潟水俣病第二次認定義務付け訴訟の到達点と課題」

萩野直路（新潟水俣病訴訟を支援する会）

## ポスター報告

## 「カネミ油症被害者のへその緒ダイオキシン調査結果からわかること」

藤原寿和（日台油症情報センター長）

## 自由集会

## 「水俣病の裁判における国の医学的主張の誤り・・・現代医学と公害の因果関係」

津田敏秀（岡山大学）

- ①食品衛生法の停止から審査協議会・認定審査会の誕生
  - ②水俣病の診断について
  - ③認定審査会があるから認定問題が起こる（認定審査会の歴史と実態）
  - ④2004年最高裁判決以降の争点
- 協力：萩野直路（新潟水俣病訴訟を支援する会）、林 衛（富山大学） 他

## 3. 水俣病事件資料集編纂委員会

統括責任者・編者：花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部 水俣学研究センター）

資料編纂顧問・編者：高峰 武（熊本学園大学特命教授）

資料収集指揮・編者：山本尚友（水俣学研究センター客員研究員）

編者：東島 大（水俣学研究センター客員研究員 熊本県民テレビ）、石貫謹也（熊本日日新聞社）、

隅川俊彦（熊本日日新聞社）、矢野治世美（熊本学園大学水俣学研究センター）、

井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）

アドバイザー：富樫貞夫（水俣学研究センター客員研究員 顧問）

有馬澄雄（水俣学研究センター客員研究員 水俣病研究会）

## 第53回水俣病事件資料集編纂委員会

日時 2024年5月20日(月) 13:30~16:00

場所 熊本学園大学14号館143C演習室

内容 各担当者から進捗状況の報告

## IV. 情報発信

- ・水俣学通信 第76号～第79号発行
- ・水俣学研究 第14号
- ・水俣学研究センターホームページ <https://gkbn.kumagaku.ac.jp/minamata/>

・熊本学園大学ホームページ <http://www.kumagaku.ac.jp/>

## V. 健康・医療・福祉相談

水俣学現地研究センターにおいて43回開催し、延べ72人の方の相談を受け入れた。うち電話相談を12回行った。

- 【2024年】 4月2日（電話相談1名含む）、4月12日、4月16日、4月17日  
4月26日（電話相談1名含む）、5月2日、5月3日、5月7日、5月14日  
5月21日（電話相談）、5月28日、6月4日、6月11日、6月17日  
6月18日（電話相談）、6月26日、7月16日、7月17日、7月18日  
7月22日（電話相談）、7月23日、7月30日（電話相談）、7月31日  
8月9日、8月23日、10月4日、10月8日（電話相談1名含む）  
10月9日（電話相談1名含む）、10月16日、10月22日  
10月23日（電話相談）、10月25日、11月26日、12月3日
- 【2025年】 1月7日、1月28日、2月4日（電話相談1名含む）  
2月19日（電話相談1名含む）、2月20日、2月21日、2月25日、2月27日、3月31日  
大学において1回開催し、延べ1人の方の相談を受け入れた。
- 【2024年】 6月26日

## VI. 胎児性水俣病世代の被害に関するWG

客員研究員を加えて構成しているワーキンググループによる調査・研究を以下のように開催した。合計9回。

- 【2024年】 4月13日（オンライン）、6月9日（オンライン）、8月11日（水俣）、8月12日（水俣）、  
9月29日（福岡）
- 【2025年】 1月18日（水俣）、1月19日（水俣）、2月7日（オンライン）、2月27日（オンライン）